

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 あさひ会	代表者	森田 孝文	法人・事業所の特徴	法人の理念である「あなたらしさ100%」を踏まえ「あなたと共に」を合言葉として、「あたり前の暮らし」、「生活の継続性」、「ご自身の持っている力を発揮できる機会作り」、「落ち着いた雰囲気作り」にこだわり、これまで培ってきた生活や暮らし、その方のこれまでの暮らしに根付いていることを大切に、支援を行っています。具体的には、身近な家庭で行っていることを施設において取り入れ、ご利用者様と共に行っています（食事のしたく、掃除、季節に応じた行事・外出等）。また、それ以外にも個別支援を重視し、お一人おひとりの希望・要望等を支援に反映するよう、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能はまひるがお	管理者	宮元 直樹		

今回アンケートにて	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	個々の改善計画の質の向上に努めていく。	→項目によっては、まったくできていないこともあり、質の向上につながったとは言えない。但し、項目によっては職員間でも意識し、定期的に取り組めた項目もあり、引き続き継続していくことが必要。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の継続 個々の改善計画の質の向上に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。 	→過ごしやすい環境作りを心掛け、室内のしつらえ（テーブル席などの配置の工夫・作品の展示等）への配慮。館内外の花壇の入れ替え、家庭菜園の実施等、環境整備を心掛けた。又、新型コロナウイルス感染防止のため定期的に換気・手に触れる箇所への消毒を継続していたが、9月に施設内にて新型コロナウイルスのクラスターを発生させてしまった。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。 ・新型コロナウイルス感染防止対策の徹底。
C. 事業所と地域のかかわり	<p>新しい生活様式を踏まえた地域との交流の機会を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内。 	→今回新型コロナウイルス感染防止のため昨年度と同様に今年度においても一切地域との交流事業が実施できなかった。但し学童交流会に関しては感染状況を確認しながら何度か開催ができた。又、実施回	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の再開。又は、新しい生活様式を踏まえた地域との交流の機会を検討していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内

	・地域住民への施設会場の提供・地域の高齢者向けのイベント企画の開催。	数は少ないものの小学校への雑巾寄贈は何度か行った。		・地域住民への施設会場の提供。 ・地域の高齢者向けのイベント企画の開催。
項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取り組み	地域の中で安心して暮らしを続けられるよう、関係者に対し、ご本人・ご家族様の了解のもと、適切な情報提供を行う。又、ご利用者の途切れた地域とのつながり（人・場所等）を修復していく。	独居の方への町内会費への手続きの代行や近隣住民への情報提供の依頼等を行った。	アンケートにて特に意見なし。	→前年度の改善計画の継続 地域の中で安心して暮らしを続けられるよう、関係者に対し、ご本人・ご家族様の了解のもと、適切な情報提供を行う。又、ご利用者の途切れた地域とのつながり（人・場所等）を修復していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	今後の新型コロナウイルス感染等の状況や新しい生活様式（ZOOM等の活用）を踏まえて会議の在り方を検討していく。	新型コロナウイルス感染防止のため4月から12月にかけての対面での運営推進会議は中止となった。オンラインでの会議開催は1度実施できたが、その後は、水害や新型コロナウイルスクラスターの発生等もあり、ハイブリットも含めて開催はできなかった。昨年度写真などを用いて状況報告の提案があり、それを踏まえて何度か写真を用いて書面での状況報告を行うことができた。引き続き計画を継続して取り組んでいく。	アンケートにて特に意見なし。	→今後の新型コロナウイルス感染等の状況や新しい生活様式（ZOOM等の活用）を踏まえて会議の在り方を検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、町内等の防災・火災対策を検討していく。	町内での防災訓練に限らず、すべての町内行事が今回の新型コロナウイルス感染防止のため中止となっている。そのため地域の防災・災害に関する取り組み・情報が入っていない状況。但し、施設内での日中想定避難訓練や消防設備の定期的な点検は行っている。	アンケートにて特に意見なし。	→新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、町内等の防災・火災対策を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月14日 (14:00 ~ 15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	8人	人	13人

前回の改善計画

1か月後の新規利用者のカンファレンスは継続する。又、担当職員が中心となり、ケアマネが作成した新規利用者のフェイスシートに、知り得た情報を追加して肉付けし、カンファレンス後に回覧していく。
→ (方策) 新規の利用者の担当職員を契約終了後、業務日誌に利用開始日と一緒に記載する。その他にも担当職員は、知り得た情報や特性、ADL 状態、活動状況、支援方法等を手書きでフェイスシートに記入し、回覧後、ケース記録に綴る。

前回の改善計画に対する取組み結果

1か月後の新規利用者のカンファレンスは継続できたが、ケアマネが作成した新規利用者のフェイスシートに知り得た情報を追加、肉付けは出来なかった。全体的に今回の改善計画に関して周知できていなかった。ケアマネが作成したフェイスシートでは、過去のことや現在も含め、家族の見解だけでの内容に偏りがちになりやすい。正しくその方を利用するためにも利用開始後のかかわりや本人から聞いた情報など多面的にもしっかりと追記し、正しく理解することが大事である。その点を踏まえ、再度取り組むことが必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		13			13
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?		12			12
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?		13			13
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?		9	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用前の情報などは職員間で共有できている。
- ・利用開始前に情報や支援内容等を回覧されている。
- ・利用開始前にミーティングで話し合ったり、回覧で情報を共有できている。
- ・新規の方には出来るだけコミュニケーションを取り、記録に残し、次への支援につなげるよう心掛けている。
- ・ケアマネからの情報である程度は把握できている。
- ・初期支援については慣れていない時にコミュニケーションを多く取るよう心掛けている。知り得たい情報もケースに記入し共有している。
- ・新規利用者様には声掛けを多くして安心して過ごしていただけるように努めている。
- ・1ヶ月後のカンファレンスはできている。
- ・慣れない時期に声掛け等の気遣いを行っている。
- ・わからないことがあれば、他のスタッフに聞いている。
- ・知り得た情報はケース記録に記録し、情報共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用後の情報をフェイスシートに追加できていない。 ・ご家族の思いが優先され、利用者様の思いに沿えていない。 ・利用者様の思いがなかなか把握し辛く、関係が十分ではない。 ・知り得た情報はカンファレンスや書面では回っていたが、どうしても資料のみの情報になりやすい。 ・ご家族とお会いし、話す機会がない。 ・新規利用者様のフェイスシートへの情報追加の回覧がなかったように思う。 ・ご家族との関係作りができていない。 ・ご本人様の思いを受け入れ理解できていない。 ・対応はできていても書面にまとまっていない時がある。 ・フェイスシートへの肉付け（手書き）が少なかった。 ・認知症がある方の思いを上手く聞き出すことができない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>前年度の改善計画を継続。⇒担当職員が中心となり、ケアマネが作成した新規利用者のフェイスシートに、知り得た情報を追加して肉付けし、カンファレンス後に回覧していく。</p> <p>→（方策）新規の利用者の担当職員を契約終了後、業務日誌に利用開始日と一緒に記載する。その他にも担当職員は、知り得た情報や特性、ADL 状態、活動状況、支援方法等を手書きでフェイスシートに記入し、回覧後、ケース記録に綴る。又、フェイスシートの肉付けは3か月を目途に行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月14日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	8人	人	13人

前回の改善計画	・すごろくなど、ゲームの中で「やりたいこと」を気軽に言ってもらい、ケースに記載していく。その点をカンファレンスやモニタリングなどに挙げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ゲームの中でやりたいことなどを尋ねることがあったが、その後に繋がらなかった。又、やりたいことや食べたいものを尋ねてもその日の気分によっても異なる。希望や要望の聞き取りに応えられる方のみでなく、様々な利用者にも自己実現を繋がるような支援を試みていくことが大事。そのためにも単一的な聞き取り調査ではなく、継続して個々のご利用者の方の支援を検討していくことが大切。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	11	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	11		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	11	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		1	10	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご利用者様の話を聞き、ケース記録などには記入できている。・すごろくは実施し、ケースにてやりたいことなどを記録した。・利用者様との関わりの中で「～したい」は聞いている。それを記録に残すようにしている。・レクリエーションや企画の中で「～したい」、「～やりたい」は一部のご利用者様には聞いている。・外出等も行っている。・馴染みの場所や「～したい」「～行っていた」と聞くことで微笑みが多くなったように思う。・ゲームの中で意向を確認する以外に入浴時など一対一で過ごす際にじっくりと話をお聞きした。・会話でご自身の要望をお聞きした場合にはケース記録に残すなどをし、職員間での情報共有を図っている。・コミュニケーションを多くとり、色々な形でアプローチを行いながらご本人の思いを聞き出そうとしている。・ご利用者様の中で望みとしてピアノ演奏をしたいという目標が達成できた。・日々の関わりの中ですぐに実現できそうなことは要望に対応している。・少しずつだが、外出する機会が増えている。・会話から思いをくみ取れたら、ケースに記録したり、担当者に伝えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもあり、なかなか具体的な取り組みまでには至っていない。 ・記録した内容をどのように活かしてよいのか、わからない。 ・個々の目標が分からないため実現できていない。 ・利用者様の「～したい」がはっきりしていない方の場合、具体的なことを上手く聞き出せていない。 ・日々の関わりの中で「～したい」「～やりたい」が十分に聞けなかった。 ・聞いても実現に難しい所がある。又、うまく聞き出せない。 ・「～したい」がはっきりとしていない方や声にならない方の思いをうまく把握や理解ができない。 ・改善計画でやりたいことを伺ったが、その先には進まなかった。 ・カンファレンスやモニタリングで取り上げていなかった。 ・明確な言葉を聞き出せないような気がする。 ・要望の強い方の対応が多くなっている。一方で偏りがある。 ・「～したい」ことなどをうまく聞き出すことができない。 ・ご本人様の思いを話して頂いても、活動や行動にはつながらない。 ・全てのご利用者様の目標を把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>カンファレンスを通して個々のご利用者の方の自己実現、やりがい、張り合いを見つけ出し、具体的な支援に繋げていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月14日 (14:00 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	人	人	13人

前回の改善計画
前年度改善計画の継続。⇒アセスメント表と介護計画書の回覧の徹底を行う。又、アセスメント表や介護計画書が日頃から目を通しやすいようにケース記録に綴っている位置を変更する。
前回の改善計画に対する取組み結果
アセスメント表や介護計画書の回覧や見やすい所に綴ることは周知されたが、介護計画書に添ったケース記録の記載は不十分であった。計画書に基づいた記録の徹底が必要。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	9	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	12			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	10		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		12	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		13			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・体調などの変化に対して対応できている。・回覧とケースの綴りはできていない。・日常生活動作でできることはご自分でして頂くようにしている。・体調や気持ちの変化など、情報の共有はケース記録や申し送りでできている。・利用者様の状況に合わせた基礎的な介護は出来ていると思う。・ケース記録や申し送りにて情報の共有はできている。・本人に合わせた対応ができていた。・毎月のモニタリング、ケース、申し送りで情報を共有し、対応できている。・本人の気持ちや体調の変化についても情報共有し、即時的に支援できている。・アセスメント表、介護計画書の回覧ができている。・アセスメントの回覧、訂正、綴り位置の変更はできており、情報を共有し、統一したケアに努めている。・「以前の暮らし方」についてフェイスシートだけでなく、普段からのコミュニケーションで本人の口から聞き出している。・ご本人の状況に合わせた介護ができています。・ご本人の変化に気づいた時には申し送り等で共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方や生活環境について十分に把握できていない。 ・「以前の暮らし方」を10個以上把握できていない。 ・声にならない声の言語化に至らず。 ・見直し後の介護計画書の回覧はしていないが、ケースを記入する際、見やすい場所に綴っている。 ・定期的にはアセスメントや介護計画書に目を通していない。 ・ご本人の声にならない声を言語化できていない。 ・対応が変更になっていることもある。 ・以前の暮らし方について会話の中から情報収集しているが、記録に残されていないこともあり、共有できていない所もある。 ・自分が休みの日に起こったことや、訪問の支援変更がケースに記載されておらず、後に他のスタッフとの会話で気づくことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>介護計画書に添ったケース記録の記載を徹底する。記載の際の項目欄には介護計画書のサービス内容の項目を記載していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月21日(14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	3人	10人	13人

前回の改善計画
前回の改善計画を継続。エコマップ作成の機会を通して、その方の地域での暮らしを知り、地域での暮らしを行う上で何が必要なのかを当事者のご本人を交えて話し合いの機会を設ける。又、エコマップでの視覚的な情報の共有を図るだけでなく、その方が地域や社会の中でおこないたいことや願いをお聞きし、それを通して地域のつながり(人や場所等)を知り、エコマップを活用しながら理解を深め、協力できることをみつける。(最低でも1回は、ご本人を交えての話し合いの機会を設ける)

前回の改善計画に対する取組み結果
当事者を交えての話し合いを行うまでには至らなかったが、ご本人に話し合いに関しての説明を行い、参加も同意を頂いたが日程調整がうまくできず、会議には至らなかった。但し、ご本人には地域の中でしたいことをお聞きし、自身の得意なピアノ演奏を老人ホームなどで発表し、他の方に喜んでもらいたい。ピアノ演奏を活かしたボランティア活動を行いたいとの意向が挙がる。その意向を踏まえ、事業所での誕生日会や催し物を開催した際にピアノ演奏を実施した。今後事業所だけでなく、地域の中で本人の得意とするピアノ演奏を活かしたボランティアを検討していく予定であった。(突然死に伴い計画を中止となる)

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	8		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	8	3	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	10		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	9	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・連絡帳などで家族との情報の共有はできている。
- ・ご家族や病院等の他の機関とのやりとりは情報を得ている。
- ・ご家族のいらっしゃる利用者様は送迎時などにご家族からの話を聞いている。
- ・ご利用者との会話の中で得た情報はケース記録に残すようにしている。
- ・コミュニケーションでご本人が「どのような暮らし」、「今までの暮らし」を聞いている。
- ・一部の方になるが昔や現在の生活について話をお聞きしている。
- ・家族からの情報があった時にはケース記録に残したり、目を通して聞いている。
- ・日々の会話で昔や現在の暮らしの話をお聞きできている人もいる。
- ・個人情報の取扱いに注意を要するが、近所に住む方から情報を得ることでその方の暮らしを把握できているケースがある。
- ・生花の購入を通して、途切れていたつながりが復活したケースがある。
- ・馴染みのある場所にお連れしている。
- ・年賀状等で現在その方のつながりのある方を把握・確認している。
- ・地域のつながりを知る上で家族の了解のもと、いきつけの場所へ行き、情報収集を行っている。
- ・ご家族や地域の関係が途切れないような支援を行っている。
- ・日々の関わりや聞き取りから日々の暮らしや状況・外出先などの情報を得るよう取り組んでいる。

- ・フェイスシートで利用前の暮らしを把握・確認している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・業務が先になっているため。
- ・地域の方との関わりについては把握・話し合いもできていない。
- ・地域資源を把握していない。
- ・エコマップの作成はしていない。
- ・「どのような暮らし」、「今までの暮らし」は聞いていたが「これからの暮らし」については聞いていない。
- ・コロナ禍もあり、地域との関わりがほとんどなかった。
- ・本人を交えたエコマップの作成ができなかった。
- ・民生委員や地域の資源等、把握できていない。
- ・インフォーマルサービスの活用ができていない。
- ・ご家族様からの情報は聞けても、地域での暮らしが把握できないご利用者様が多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

別の対象者に変更し、エコマップの活用は継続していく。エコマップの活用やご本人にも話し合いに参加していただき、その方の地域での暮らしや役割・思いを理解していく。又、意向の課題を抽出し、具体的な支援を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月21日(14:00~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	2人	人	13人

前回の改善計画
前回の改善計画を継続する。個別的な対応を職員全体で情報を共有し、より一層推進していく。(自宅での閉じこもりや、入浴の拒否などへの改善への働きかけを行っていく)
前回の改善計画に対する取組み結果
スタッフの柔軟な対応により、自宅での閉じこもり、これまでなかなかお風呂に入ることを拒んでおられた方が施設の通いを利用し、施設でお風呂に入っていただけになった方がおられる。一方で特定のスタッフの臨機応変な対応ができる方もいる一方でスタッフによっては、情報の把握ができておらずにわからないまま支援を行っている人もある。全スタッフが臨機応変な対応や支援の提供が行えるよう、申し送りや情報共有の徹底・強化を図れることで、スタッフ全体が柔軟な対応や支援を行えるようになれると考える。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	10	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		13			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		12	1		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		13			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・体調や家族の都合で通い・泊まり・訪問などの追加・変更等の対応はできている。・できることに注目し、情報を共有し、支援に活かしている。・利用者様の状況にあった支援ができており、申し送りやミーティングで情報を共有している。・ご家族様の都合で「通い」、「訪問」、「宿泊」の追加を取り入れ、柔軟に対応している。・本人の体調で「通い・訪問・宿泊」と対応している。・(本人の状況・状態に応じて)柔軟な支援が行えている。・本人の状態・ニーズに合わせて支援や「通い・訪問・宿泊」が妥当適切に提供されている。申し送りや回覧で情報を共有している。・毎日の訪問から関係性を築き、月1回のこれまで馴染みの生花を出掛けることができ、結果週1回施設にも来て下さるようになり、食事や入浴ができるようになったご利用様もいる。・スタッフの試行錯誤と柔軟な対応により、自宅での閉じこもりが改善した。・家族の都合や体調不良等に応じて柔軟に泊まり対応することもある。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・連泊の利用している方が多いため急な泊まりに対応できていないこともある。 ・地域行事がコロナ禍で中止となり、参加できなかった。 ・地域資源の活用があまりできていない。 ・家族のニーズと本人の要望が違っているとご本人の要望にできていない時がある。 ・本人のニーズに合っているのかは不明な所がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・申し送りや情報共有の徹底・強化を行うことで、スタッフ全体が柔軟性のある支援・対応を図れるよう取り組んでいく。(情報を正しく理解できるよう、写真などを用いて視覚的に分かりやすく申し送り等を行う。但し、十分にプライバシーに配慮し、事業所のIT機器を用いていく)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月21日 (14:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画	前年度の改善計画 (これまでのつながりや関係性が途切れないように連絡調整・情報交換等を行っていく。)の継続と合わせ、コロナ禍の終息状況をみながら、行事や交流などの取り組みを以前の状況に戻していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年度も関係性が途切れないよう定期的に関係機関や関係者との連絡調整・情報交換を行ってきた。コロナ禍前までには至らないものの、学童との交流会などの開催も再開することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		5	5	3	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	3	6	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			3	10	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	3	9	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 他のサービス機関との連携が取れている。 学童やこども園との大勢での交流は難しいが、小学校への雑巾寄贈はできている。 サービス機関との連携は行えている。 コロナ禍の中、交流はできなかったが、学校と連絡を取り、雑巾寄贈等の活動に繋がっている。 コロナ禍の影響でこども園や学童との交流はできなくても、クリスマスにお菓子を持参したり、お礼の寄せ書きやDVDをもらったりと今までとは別の形で交流できている。 センターと協働で地域貢献の目的で移送支援を開始した。 関係機関との会議はオンライン等を活用して代表者が参加し、連携を図っている。 コロナの状況を踏まえ、自粛解除時には雑巾の寄贈やこども園や学童にクリスマスプレゼントを届ける活動を行ったり、学童との交流会は出来ていた。 こども園や学童・小学校との交流が途切れないよう定期的に連絡を行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でもあり、地域交流が行えていない。 地域住民との関わりがあまりない。 コロナ禍で地域行事やイベントが中止となり、参加することが難しい。 地域活動やイベントへの参加ができていない。 利用希望の方への施設見学は行っているが、コロナ禍の為もあり、行事等で来ていただくような取り組みは出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

学童交流会などの実施は市内の健脚体操等の運営状況等を参考に取り組みを進めていく。又、現段階では飲食を伴う行事は控える。(餅つき大会等)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年7月5日(火) 14:00~15:00

7. 運営

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画
3か月に1度の活動検討会を継続する。日程は、今年度は介護リーダーが事前に決め、スムーズな会議が行えるよう、当日の参加ができない担当者からの課題や検討事項を確認し、当日の活動検討会がスムーズに行えるよう、取り組む。次年度は、介護リーダーではなく、活動の各担当者が輪番で日程と不参加者からの情報収集を行う。(最低でも今年度は2回開催する)
前回の改善計画に対する取組み結果
リーダーが開催日を決めたこととおおまかに3か月に1度のペースで会議の開催ができた。開催に伴い、各スタッフに具体的な手伝いや要望を挙げるのができた。この検討会にて担当サイドだけで実施するのではなく、皆で協力し合うために具体的な方策や様々なアイデアを出し合い、各活動の質の向上に繋げていくことが目的であるが、そこまでは至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	5	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		12		1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	4	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	6	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・管理者との面談などで意見等は話し合っている。・意見や苦情があった場合は、スタッフ間で情報を共有し、対応を行っている。・施設内での行事・活動はできていない。・月ごとの行事(ミュージック・臨床美術・誕生日会)はしっかりと行っていた。・月ごとの企画も工夫して行えた。・活動検討会の開催は行われていた。・意見や苦情があれば情報共有し、すぐに対応できている。・行事ではアイデアを出し合い、趣向を凝らしたスタッフの余興をご利用様は楽しまれている。・気づいた点があれば、即時的に言うように心掛けている。・ご家族にお会いした際には形式的な挨拶だけでなく、何か相談したいことがないのかを尋ねたり、お聞きするよう心掛けている。又、聞いた事項に関しては職員間で情報共有している。・浮柳郵便局に臨床美術の作品展示を行った。ご利用様の作品の展示を通して施設での活動を地域の方に知っていただける良い機会になった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・家族様の意見はすべて反映させていくことは難しいこともある。 ・地域の方と語り合う機会がない。 ・コロナ禍で地域交流などの行事の中止のため。 ・地域の方と会う機会が殆どなかった。 ・地域交流や地域との協働した取り組みができなかった。 ・地域の方からの意見や苦情を聞く機会がない。 ・運営懇談会をコロナのため開催できなかったこともあり、外部の意見を聞いたり、取り入れる機会がなかった。 ・苦情に繋がるような忘れ物や伝達忘れが何度かあった。 	
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>活動検討会を継続実施する以外に会議時において議論や意見を活発に言える環境を作り努める。(具体的にはPDCサイクルを実施して活動の質を向上させていく。⇒検討会→振り返り→改善→検討会のサイクルを繰り返す【例】レクのアイデアを募集→次回の会議時に参加者より意見を挙げる→挙げたアイデアを実施する)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年7月5日(火) 14:00~15:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	人	人	13人

前回の改善計画
(前年度の継続) 2か月に1度のペースでの危険予知トレーニングを継続する。時間帯は前回と同様、15時のおやつ時間帯に開催。又、前もって勤務表等に組み入れる。

前回の改善計画に対する取組み結果
2か月に1度のペースで危険予知トレーニングは実施できた。但し、実施の具体的なケースなどを用いたトレーニングの実施には至らなかった。より実になるものとするためにも実際のご利用者様の危険な行動など、日常でみられる場面を想定に危険予知トレーニングを行った方が良いのではないかと意見が挙がる。又、ヒヤリや事故報告書などの振り返りは行えていなかった。その点も含めて危険予知トレーニングの中で実施してはどうかとの意見も挙がった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	11	1		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	4	7	13
③	地域連絡会に参加していますか		3	2	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10	3		13

できている点

- 危険予知トレーニングに参加できている。
- 動画配信による研修に参加したことで少しでもスキルアップができた。
- 2か月に1度KYT研修が実施され、参加できている。
- ヒヤリや事故報告書を業務日誌に記入したり、回覧することで情報共有ができている。
- 職場外研修を受けたスタッフの職場内研修にて報告された際に、研修内容の伝達以外に自身で気づきや学んだことから得た情報などを発表してもらい、有意義な研修を受けることができた。
- ヒヤリハットが把握しやすくリスクマネジメントに取り組んでいる。
- KYT研修を行う際、毎回司会を交代し、スキルアップにもつながったと思う。

できていない点

- ヒヤリや事故報告書があってもそれについて全体で防ぐための話し合いができていない。
- 職場内研修には参加できたが、職場外研修への参加ができていない。
- 外部研修への参加があまりできていない。
- ヒヤリや事故報告の改善計画の話を全体でする機会がなかった。
- 職場外研修の機会が少なかった。
- スキルアップのための学習・勉強はできていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

2か月に1度のペースでのKYTを継続する。又、実際のご利用者様の事例などを用いてKYT研修を行う。併せて事故報告書やひやりはっとななどの実際の内容も検証していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年7月5日(火) 14:00~15:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	3人	人	13人

前回の改善計画	人権に関しての価値観を共有できる職場内研修会を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年度、人権プライバシーに関しての研修会を1度開催できた。その際、事前に職場外研修内容はもちろん取り入れたり、事前にスタッフ全体にアンケートも実施し、その内容を研修に取り入れ、大変良い研修会を実施できた。但し、座学的な要素が強く、もう少し日々の自分たちが行っている支援・関わりが人権やプライバシーの配慮を行えているのか、振り返る研修内容も取り入れても良いのではないかとの意見も挙がる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	3	10			13
② 虐待は行われていない	2	11			13
③ プライバシーが守られている		8	5		13
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		1	1	10	12
⑤ 適正な個人情報の管理ができています		7	6		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・虐待やプライバシー侵害の概念はある。・利用者様のプライバシー等に気をつけている。・人権を尊重するよう言葉遣いや態度には気をつけている。・利用者様が安全・安心して過ごせるよう「人権・プライバシー」への配慮・保護に努めている。・虐待や拘束は行っていない。・職場内研修の実施を通して支援のあり方の振り返りができている。・職場内研修等で戒めることができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・スタッフ間の会話などからも個人情報が漏れていることがある。・職員同士、話す声が大きくて利用者様に聞こえていることがある。・利用者様が聞こえておらず、つい声が大きくなってしまふことがある。・声掛けに配慮が足りない時があった(大きな声で言う)・「ちょっと待って」と言う時がある。・成年後見制度を活用している方がいるか、どうかはわからない。	

- ・待ってもら。歩き回る方にも結局座ることへと誘導するなど、行動制限をしてしまうことがある。
- ・職員同士で排泄状況を伝える時に大きな声になることもある。
- ・プライバシーへの配慮が足りない場面が多々ある。
- ・プライバシーや個人情報の管理ができていない。具体的には個人ケース記録ファイルが他の利用者様がいるテーブルに置き放していることがある。
- ・強い口調での声掛けや子供扱いしたような声掛けがみられる時がある。
- ・丁寧な言葉使いを心掛けているが、不適切な言葉を使っていることがある。その場で行くわすが注意に至らず。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

人権やプライバシーに関しての研修会を継続する。その中で日々の(人権・プライバシーを配慮した)自分たちのかかわりを振り替えられる研修内容にしていく。(研修に反映できるようなアンケートなども取り入れたり、担当者は職場外研修に参加し、座学も取り入れていく)